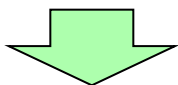


# 八代市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 19年5月～24年3月)

## 【中心市街地を巡る状況】

- 河口付近の城下町として栄え、臨海工業やイグサ等の農業により県南部の中心地として発展
- 郊外に大型店が出店、商店街では核となっていた大型店が閉店
- 中心市街地内の大型店と商店街の連携が開始
- 合併により市域が東部(山岳部)へ拡大



## ○歩行者・自転車通行量(平日)の減少

18,171人(H12)→15,053人(H18) [△17.2%]

## ○中心商店街の売上額減少

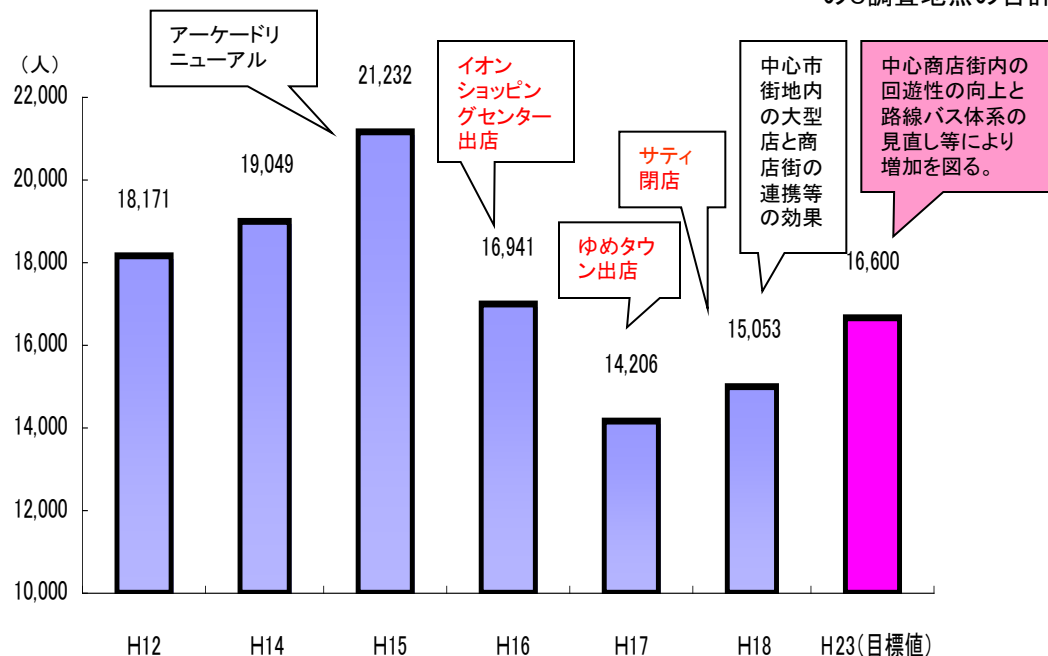
7,770百万円(H15)→6,234百万円(H17) [△19.9%]

## 【目標】

目標	指標	現況値	目標値(H23)
賑わいを取り戻す	歩行者・自転車通行量(平日)	15,053人(H18)	16,600人
中心商店街の活性化	中心商店街の売上額	6,234百万円(H17)	6,800百万円
街なか居住の促進	居住人口	7,687人(H18)	8,000人

[歩行者・自転車通行量(平日)の動向と数値目標] ※本町アーケード商店街

の6調査地点の合計

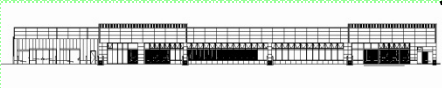


中心市街地内の大型店と商店街の連携、商店街を交通結節点としたバス路線の見直しによる利便性の向上等の地道な工夫を積み重ねることにより、商店街の活性化とまちの賑わいを取り戻す。

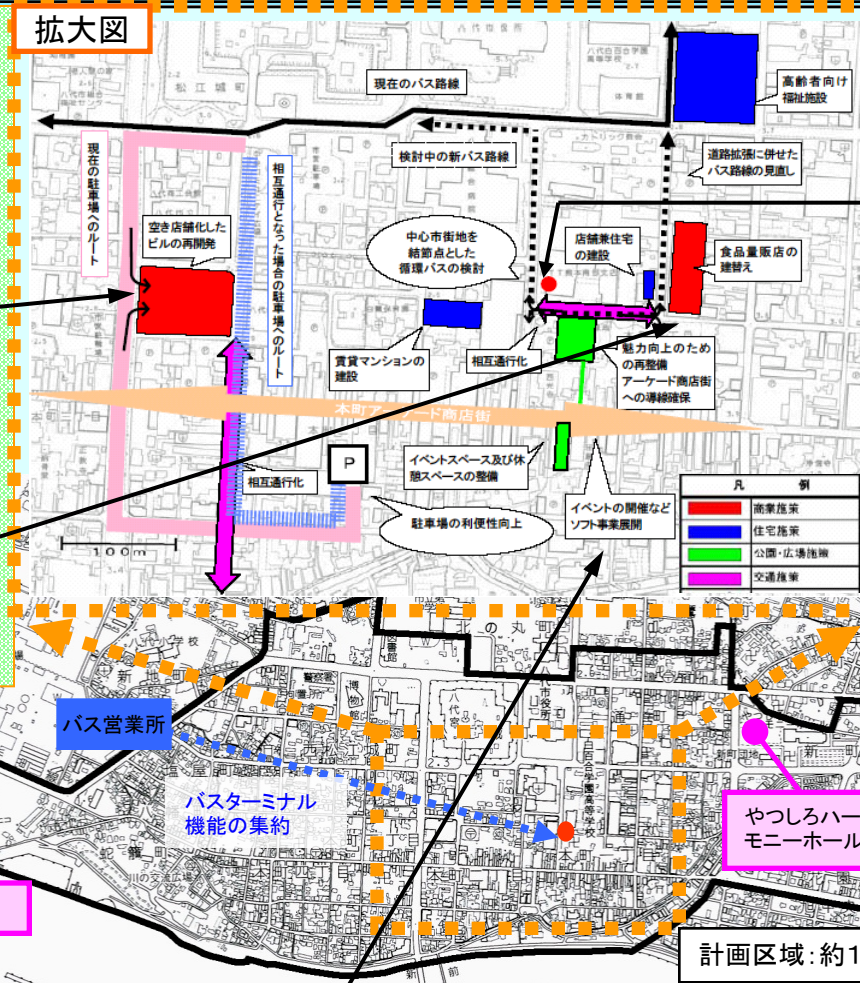
# 八代市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 賑わいと交流の促進

- 大型店撤退(H18.1)後、老朽化したビルを建て替え、新たにスーパーを誘致。
- 建て替えたビル内に子育て支援施設を設置(2F)。
- 中心市街地に不足している生鮮産品等食料品に特化した店舗に建替。



## 拡大図



## バスの利便性の向上

- 道路の拡幅・相互通行化により、商店街アーケードの近くにバス停を新設。
- これと併せ、全ての路線バスが新設するバス停を通るように路線系統全体を見直す。(約1.5km離れた営業所等に分散したバスターミナル機能を中心市街地へ集約。)

## 街なか居住の促進

- 中心市街地に民間が建設予定の共同住宅に対して支援。
- ・中心市街地共同住宅供給事業など

## 大型店と商店街の連携事業

- 大型店と商店街を結ぶ無料のシャトルバス・貸し自転車、中元・歳末大売出し(宣伝、抽選・景品)の共同化等の連携を行っており、さらなる連携を促進。

## 市民による祭などイベント開催等

- おかみさん会による「城下町やつしろのお雛祭り」や、「八代妙見祭」、「本町土曜日」など、市民連帯して楽しむイベントにより賑わいを創出。
- 空き店舗を活用し、地元高等学校と商店街との連携により、生徒が主体となって「木工教室」、「スクールマーケット」を開催し、市民に開放。



シャトルバス



貸し自転車



城下町やつしろのお雛祭り



八代妙見祭



本町土曜日